

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施 策	30 住宅 ー市民や事業者の協力により、良好な住環境を整備しますー			
重点プロジェクト		美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト			
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する			
主 管 課	都市政策部 建築課	評価責任者		山風呂 敏	
		評価日		令和7年6月2日	
関 連 課		危機管理防災課			
目 標		住宅の密集化の改善や住宅の耐震化とともに、周辺環境に配慮した安全で快適な住環境を整備します。また、老朽化したマンションや管理不全の空き家対策の推進を図ります。			
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 良好な居住環境の整備 ○災害時の避難や消防活動に支障が想定される住宅密集地域では、住宅の不燃化や共同化によるオープンスペースの確保など、市民や関係機関の協力の下、ゆとりのある空間整備を行い、防災能力を向上させます。 ○住宅の耐震化を進めるために、長期優良住宅認定や既存住宅耐震診断・改修補助金交付制度について、相談窓口の充実や情報提供を行います。 (2) 空き家等の適切な維持管理の促進 ○多様な主体との協働・連携により空き家の適正管理や利活用などを推進し、良好で安全・安心な住環境の保全を促進します。 ○マンションの実態把握を行い、状況に応じた適正な維持管理や老朽化したマンションの改修・建て替えを促進します。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	住宅の耐震化率							
		説明	耐震性のある住宅の割合。住宅の耐震化を図る指標となるため。							
		単位	%							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	94.80	95.00	95.20	95.40	95.60	95.80	96.00	
		実績値	94.83							
	指標2	指標名	空家バンク・ワンストップ相談利用件数（累計）【総合戦略】							
		説明	空き家バンクに登録された件数と（公社）宅地建物取引業協会埼玉西部支部及び空き家・空地管理センターとの協定に基づく相談窓口の利用件数の合算値（指数の数値は累計値。（）内は、空き家バンク登録件数）							
		単位	件							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	200(45)	225(50)	250(55)	275(60)	300(65)	325(70)	350(75)	
		実績値	176(38)							
	指標3	指標名	空家バンク・ワンストップ相談利用件数（累計）【総合戦略】							
		説明	空き家バンクに登録された件数と（公社）宅地建物取引業協会埼玉西部支部及び空き家・空地管理センターとの協定に基づく相談窓口の利用件数の合算値（指数の数値は累計値。（）内は、ワンストップ相談利用件数）							
		単位	件							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	200(155)	225(175)	250(195)	275(215)	300(235)	325(255)	350(275)	
		実績値	176(138)							
	指標4	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	107,988	0	0	0	0	0	0
	人件費	44,368	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	56,557	0	0	0	0	0	0
	一般財源	95,799	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	建築物の耐震化及び補助事業に関する周知	耐震化と補助事業に関するリーフレットを建築課窓口で配布するとともに、大井総合支所、出張所や公民館等の市内公共施設にもポスターやリーフレットを配架すること、また、ホームページには年間を通して掲載、広報紙には年間で3件掲載して周知活動を行った。	耐震及びリフォーム相談会を3回行い7件の相談があった。また、相談会参加者の中から、耐震診断補助金2件、耐震改修工事補助金1件の交付実績に繋がり、市民の耐震化事業に対する関心度が確認できた。	既存住宅耐震化促進事業
取組②	【総合戦略】 空家バンクおよび空家ワンストップ相談窓口等の周知	空家バンクや空家ワンストップ相談窓口等の案内チラシを空家所有者へ直接送付するとともに建築課、市民課、税務課及び大井総合支所での配布や市主催の催事でチラシ配架を行った。また、ホームページに年間を通して掲載、広報紙には年間で4件掲載して周知活動を行った。	令和6年度の実績は空家バンクの登録がなかったが、ワンストップ相談の利用が埼玉県宅地建物取引業協会では13件、NP0法人空家・空地管理センターでは15件あり、空家所有者等のニーズや空家等の個々の状況に応じた問題解決の促進につながった。	空家対策事業
取組③	【総合戦略】 マンション管理に関する相談会およびマンション管理計画認定制度の周知	マンション管理に関する無料相談会及びマンション管理計画認定制度に関する案内チラシを建築課窓口で配布した。また、築年数が30年以上経過した分譲マンションの管理組合を対象に、案内チラシを送付した。	令和6年度のマンション管理に関する無料相談会の相談件数は6件あり、分譲マンションの管理組合の個々の状況に応じた問題解決の促進につながった。また、マンション管理計画認定件数は1件あり、管理不全発生防止につながった。	空家対策事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	取組①：既存住宅の耐震化に関する問い合わせは多く、耐震診断補助金2件、耐震改修工事補助金1件の交付実績に繋がった。補助対象となる住宅は建築基準法が改正された昭和56年5月以前に着工された住宅のため、新築時から45年程度経過し老朽化が進んでいることや生活様式の変化から、耐震改修を行わず建替えされる方も多い。よって、耐震改修の補助件数の数値に現れない部分でも、建替えによる耐震化が進んでいる。また、住宅地では災害時の避難経路確保の面からも住宅の倒壊を防ぐため耐震化が必要である。今後も引き続き、建物の利用状況や費用面で建替えが難しい場合もあると思われるので、耐震化の必要性和補助事業について丁寧な説明を続け、耐震化の啓発と補助事業の利用促進を図る。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	取組②：空家を抑制する手法として空家を市場流通させることが有効であると考えられるため、今後も空家バンクに加え、空家に関する様々な相談を一つの窓口で受けるワンストップ相談についても広く周知し、空家所有者等の様々なニーズや空家等の個々の状況に応じた問題の解決を図る。 取組③：分譲マンションのアンケート結果から、高齢化による役員のなり手不足の深刻化などにより管理組合の機能低下が懸念されるため、マンション管理の適正化に向けた施策の方針として、築30年以上を経過したマンションの管理組合の活動の支援を重点的に取り組む。管理組合の活動実態が把握ができないマンションに対しては、全ての区分所有者に対しマンション管理に関する情報を提供するなど管理組合の活動の適正化を促進する。
施策の効果	
効果が得られている	